



# 冬の感染症～予防のポイント～

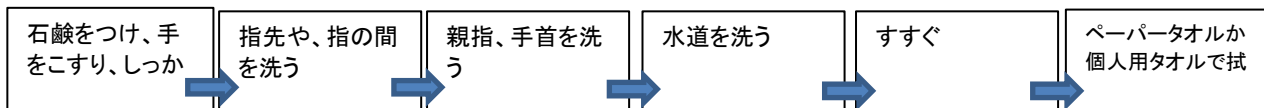
## 《主な冬の感染症》

	感染経路	症状	治療
RSウイルス感染症	・飛沫感染 ・接触感染	・発熱、鼻水などの症状が数日続く。 ・多くは軽症で済むが、ひどい咳、喘息、呼吸困難などの症状が出現し細気管支炎、肺炎へすすむ場合もある。 ・1～2週間で徐々に回復するが、重症例では呼吸困難などのために入院が必要となる場合がある。	・対症療法 
インフルエンザ	・飛沫感染	・突然の38℃以上の高熱。 ・全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状。 ・喉の痛みや咳などの呼吸器症状 ・通常は発熱が数日持続した後、1週間程度で回復する。 ・合併症として、まれに脳症(けいれん、意味不明な言動、急速に進行する意識障害などが主な症状)がある。	・対症療法 ・抗ウイルス薬 ・解熱薬は種類によって使用を避けるべきものがある。
嘔吐下痢症	・飛沫感染 ・接触感染(糞便や嘔吐物で汚染されたものからの経口感染)	◎ロタウイルス下痢症 ・通常、嘔吐、下痢が先行し、次いで下痢の症状を認める。 ・細菌による胃腸炎に比べて、腹痛や発熱が少ない。 ◎ノロウイルス感染症 ・嘔吐、下痢(ロタウイルスほど発熱はみられず、症状の持続も短く、軽症) ・長期免疫ができていくため、繰り返し感染する。	・下痢、嘔吐、発熱、脱水に対する対症療法。 

## ◎感染予防のポイント



### 【手洗い】



### 【マスク】

インフルエンザなどの流行時は人ごみなどの外出を控え、外出時にはマスクをしましょう。咳、くしゃみなどの症状がある場合は、マスクをしてしぶきなどを飛ばさないことが周囲への感染予防の「咳エチケット」です。

### 【嘔吐物や便の適切な処理】

- ・汚物の処理、清掃、消毒を行うときは、使い捨ての手袋やマスクを使用する。
- ・嘔吐物や便は、布や紙でふき取り、その後、塩素系消毒剤で浸すようにふき取る。
- ・使用した布や紙はビニール袋に入れ密封して捨てる。
- ・汚染された衣服などは、ポリバケツなどに入れて1か所に集め、汚物を落とし、塩素系消毒剤に10分以上浸すか、熱湯消毒(85℃で1分以上の加熱)後に洗濯する。